

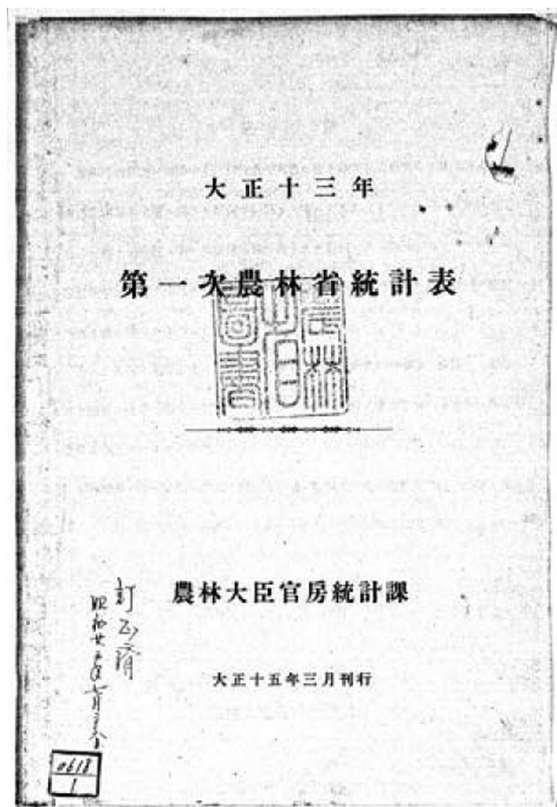
10月18日は『統計の日』

「統計の日」は、国民の皆さまに、統計調査の重要性への関心と理解を深め、調査へのより一層のご協力をいただくため、政府によって昭和48年(1973年)7月3日に定められました。

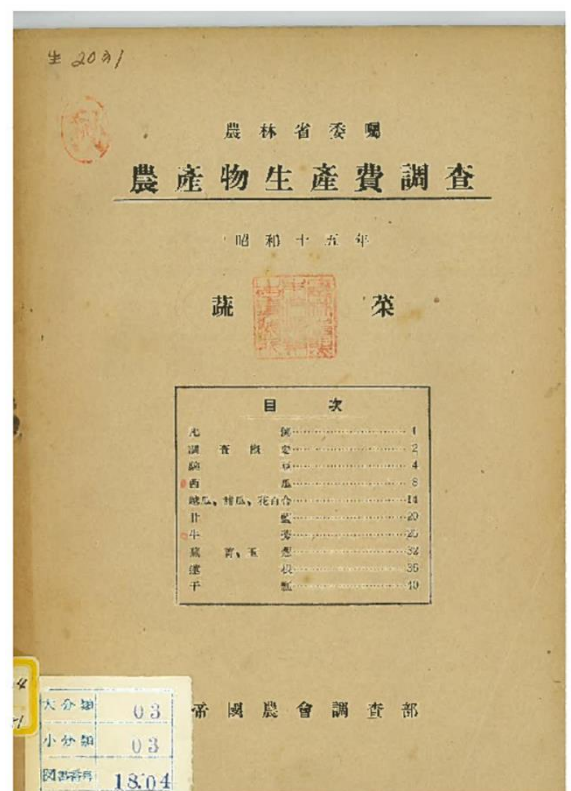
★「統計の日」の由来

明治3年9月24日(1870年10月18日)に、日本で初めての近代的生産統計である「府県物産表」(農林水産物と鉱工業生産物の生産高をまとめたもの)の太政官(だじょうかん)布告が公布された日に由来しています。

■ 第一次農林省統計表(大正13年) ■



■ 農産物生産費調査(昭和15年) ■



左は、大正15年(1926年)に農林水産省(当時、農林省)で発刊された大正13年(1924年)結果の統計書です。その後、毎年、各種農林水産統計データを掲載した「農林水産省統計表」を作成しています。

右は、九州農政局に保管されている最も古い統計書です。昭和15年(1940年)に発刊された「農産物生産費調査 蔬菜(そさい)」で、「すいか」、「ごぼう」などを生産するために要した費用が掲載されています。

